

### 【KURADASHI.jp会員の皆様へ】

災害はいつどこで発生するかわかりません。日本国内では2013年には43ヶ所、2014年には38ヶ所で災害ボランティアセンターが設置されており地元の方々自身も被災された中、支援活動を行っています。ピースボート災害ボランティアセンターでは、日本国内外において地震、津波、台風などの自然災害が発生した際現地に速やかに専門家を派遣し、被災地での災害支援活動が円滑に行われるよう現地の災害ボランティアセンターのサポートや現場の作業コーディネーターの派遣。ボランティアの派遣、生活再建支援などを行っています。

皆様のご支援は被災された方々が一日も早く安心して生活できるように活用させていただきます。今後ともご支援を宜しくお願い致します。

### 【活動レポート】

2016年4月14日以降に発生した熊本地震により、熊本県内では69名が死亡。発災後最大で18万人が避難していた避難所避難者数は、6月30日時点で5,769名と最大時の3%となりましたが、被害の大きかった益城町では1,888名、熊本市では1,334名が依然避難所で避難生活を送っている。また、全壊および半壊家屋は32,318棟。そして在宅避難・車中泊避難者が多数おり、実質上の避難者数はさらに多数にのぼります。

ピースボート災害ボランティアセンター(以下、PBV)では、4月19日に熊本入り。益城町、熊本市を中心に以下3つの軸で支援活動を実施しています。

#### 1. 炊き出しおよび避難所運営支援事業

調理師スタッフを含めたボランティアチームを構成し、炊き出しを提供。市町から支給されるお弁当などの補食として避難所および周辺の避難住民に対し、週2~3回不足しがちな野菜などが入った炊き出しを一日に約200食程度提供しています。また、住民による避難所の運営サポートを実施しています。

#### 2. 災害ボランティア・コーディネート(熊本県内)

熊本市南区、西原村に入り、ボランティアセンターの運営サポートを実施。震災後まもなく3か月。雨季を迎え、未だ瓦等の片づけ、ブルーシートの設置などのニーズが多くあります。

#### 3. 支援団体の連携・調整

被害調査・支援検討のため熊本入りしたPBVを含む支援団体と地元の「NPOくまもと」、内閣府(防災担当)や熊本県ら行政も含めた連絡会での事務局調整役を担っています。

